



豊前
ようそ

天狗の里 ぶぜんのの歴史・文化財

静かに、ゆっくりと流れる時間。この街はどこか懐かしくもあり、新鮮でもある。伝統と歴史が今も大切に受け継がれている、この街の「心」にふれる歴史散策してみませんか？



蔵春園
◎県指定史跡

江戸時代後期、漢学者の恒遠醒窓によって開かれた私塾。門下生には三千人にも及び豊前地域の学究のメッカでした。



福岡県立 求菩提資料館

県立の資料館で山岳宗教のメッカとよばれる求菩提山の修験道遺品を展示しています。国宝銅板法華経(レプリカ)をはじめ、仏像、神像、古文書文書など二千点近くを収蔵、展示しています。



岩洞窟
◎国指定史跡 (岩洞窟地区)

求菩提山の修験者は、窟の中に籠り自らを肉体の極限にさらす事で法力を得、加持祈禱を行うことによって人々を救おうと考えました。厳しい修行場の窟の天井に描かれる飛天は、修験者達の極楽浄土を表現し、如来の教えをたたえることを意図するのかもしれませんが。

求菩提山

◎国指定史跡



平安時代末期、「一山五百坊」と言われた修験山で、天台宗求菩提山護国寺を中心に多くの山伏達が山中に住み、厳しい修行に挑み、英彦山と共に豊前修験道の中心を担いました。山中には、横の石門、みそぎ場、五窟、護摩場跡などの修験道遺跡が多数点在します。また館の求菩提資料館には、山から出土した数々の修験道に關わる遺品が展示され、当時の文化をうかがう事が出来ます。



大羅迫の滝

修験道文化の史跡が今なお残る犬ヶ岳から流れる岩岳川の清流は、四季折々の姿を見せています。登山道から見える大羅迫の滝は標高800mに位置し、高さ5m程の落差で、絹糸を散らしたような優美な姿を見せてくれます。その風景は、かつて修験道の厳しい修行の場であった険しい景色とは違う風情をみせています。

大日如来像



平安時代後期に作られた木造大日如来坐像で、求菩提山の大日窟に安置されていたものです。大日如来は密教の世界の絶対的な真理で、密教が想定した二つの世界である胎藏界と金剛界の核とされます。森羅万象の生命の根源であると言われ「光り輝き、遠く照らす」の意味を持ち、金剛界大日如来とは金剛石の様に硬く、迷いのために損なわれない事を表わします。

銅板法華経 ◎国宝

求菩提山中の普賢窟より出土されたと言われる銅板法華経は、末法の時代、仏法が滅びゆくことを案じ、銅板に、法華経8巻、般若心経を刻み後世に伝えようとしたタイムカプセルです。出土した洞窟を母の胎内に見立て、またいつの日にか生み出してもらうことを願って埋藏したものと考えられています。銅板経33枚と4面に阿彌陀三尊、釈迦と多宝の二如来、不動明王、毘沙門天が線刻された銅宮とが完全な形で出土されたのは全国でも稀で、さわめて貴重な文化財です。



如法寺

◎国指定史跡求菩提山(如法寺地区)

求菩提山護国寺の末寺の一つとして、写経所の役割を担いました。また、求菩提山の北東方向に位置し、山門には金剛力士像(県指定有形文化財)が置かれ、悪魔や邪霊が入らないよう「鬼門封じ」としての役割も果たしていたといわれます。戦国時代には、宇都宮氏滅亡と共に焼失しましたが、江戸時代に黄檗宗の寺院として復興され、現在では蓮の花が有名となり蓮寺とも言われています。



鬼の石段

昔、犬ヶ岳に棲む鬼達が大変な乱暴者で、村に下りてきては、作物をあらしたり、米や家畜、農作物を盗んだり悪さばかりしていました。みかねた求菩提山の権現様は鬼達の悪業を逆手にとって、朝一番鳥が鳴くまでに千段の石段を築くよう言いつけます。鬼達は必死に石段を築きあげ、残りわずかまできたところで慌てた権現様が一番鳥の鳴きまねをすると、鬼達は朝がきたと思ひ込み一目散に逃げ去ったと言われています。今でも中宮から上宮の間には鬼が築いたという850段の石段が続いています。



千手観音立像

◎国指定重要文化財

樟材による一本造りで像高211.2cmの大きさをほこり、平安時代後期でも早い時期に作られたものと思われます。顔は張り強く、切れ長の目に小振りの鼻、唇が表現され全体的に童顔にまとめられています。昔、母乳の出が悪い母親がこの湧水でお粥を炊いて食べたところ、よく出るようになったという伝説から、別名「乳の観音」とも呼ばれています。





BUZEN SPA SPOT

豊前市には趣のある四つのお風呂があります。やすらぎの四泉めぐりで体も心もリフレッシュ!

豊前温泉 天狗の湯



街の中心に位置し、気軽に立ち寄れる温泉として皆さんに親しまれています。露天風呂、サウナも完備されているほか、湯上りは広々とした休憩室でのんびり過ごせます。また、館内の食堂では、軽食から宴会までご利用できます。

- 営業時間:10時~22時(※定休日/第3火曜日)
- 入浴料金:大人400円/子供200円(12才以下)

〒828-0021 豊前市大字八屋1725番地 1
TEL 0979-82-1094



汐湯の里 (豊前市老人福祉センター)

- 営業時間:9時30分~18時(定休日/月曜日)
- 入浴料金:市内在住者/150円・市外/200円

〒828-0021 豊前市大字八屋322-50
TEL 0979-83-3917

豊前では古くから「汐湯」として温海水浴がとり入れられ、アトピー、あせもや肌あれ、肩こりに効果があるとされています。広々とした休憩室も完備され、健康な体作りと憩いの場また、身近な公衆浴場として親しまれています。

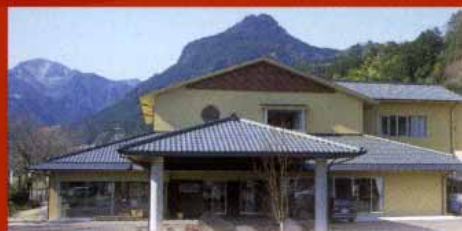
「遊の里」畑冷泉館

〒828-0005 豊前市大字畑708
TEL 0979-82-4101

水神社境内にある樹齢約830年の大楠の根元から湧き出る清らかな水は、名水として名高く毎日多くの方が水を求めて訪れています。夏季にはこの水を利用した冷泉館が開館し、涼を楽しむに遠方から多くの方が訪れています。水温15℃~16℃での冷泉浴は、あせもなどにも効果があると言われています。



- 営業時間:7月~9月中旬 10時~18時(※その他の期間は休館)
- 入浴料金:大人300円/子供150円/幼児 無料

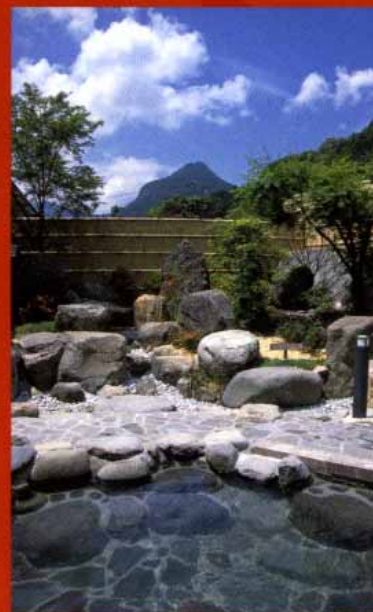


求菩提温泉 「ト仙の郷」

求菩提山の懐にたたくむト仙の郷は、自然に囲まれた癒しの空間で、四季折々の美しい景色が楽しめます。なめらかなお湯は、肌がすべすべになり女性の方に人気の温泉です。季節の料理と郷土料理を中心に真心こもったお料理をご堪能ください。

- 営業時間:●5月~10月/10時30分~22時
●11月~4月/10時30分~21時
- 入浴料金:大人400円/子供200円(12才以下)
- 宿泊料金:7,000円~(1泊2食付)

〒828-0084 豊前市大字篠瀬57-2
TEL 0979-84-5000



北九州空港 豊前街道

北九州空港は国内、アジアへとつなぐビジネスの拠点として毎日多くの方が利用しています。豊前街道では地域の旬な特産品、海産物の販売や観光情報の提供を行っています。



BUZEN KAIDOU





ゆず

豊前を代表する果樹であるゆずは、冷涼で清らかな川の流れる山間部の棚田で作られ、「棚田ゆず」として販売されています。また、香り豊かなゆずの皮と唐辛子と塩を混ぜて作られるピリッと辛い柚子胡椒、みそ漬け、かるかん饅頭、マーマレード、シフォンケーキなど多くの特産物が生まれています。



豊前茶

新緑の彩る5月初旬に刈取られた豊前茶は、清涼な水と空気環境で育った為、香りがよく、まろやかな味わいが評判です。

水 冷泉 畑

豊前市の文化財指定の樹齢800余年の楠の大木の根本から湧出する冷水で遠方から、飲用や料理用に水を持ち帰る人も多い。豊前松江駅から、市バスで10分。「畑冷泉」バス停下車。



豊前の うまいもん凶鑑

豊前の豊かな恵みでとれた最高食材！



豊前海 一粒かき

豊前海の栄養をたっぷりと含んだ『豊前海一粒かき』は普通のかきと比べても粒が大きいのが特徴です。口に含むと、ぶるんとした食感が楽しめ、また濃厚なかきの風味が広がります。

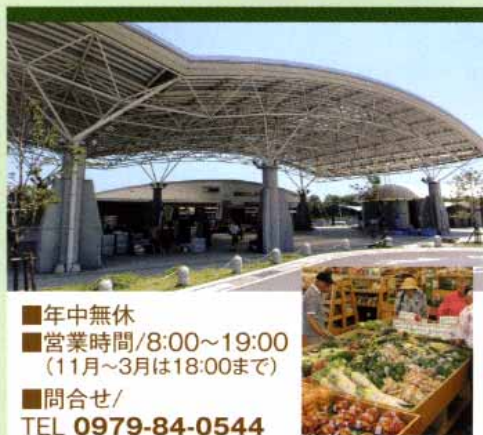


豊前本ガニ
ワタリガニ

日本有数の漁獲量を誇る豊前海のワタリガニはしっかり詰まった身と甘味が特徴で「豊前本ガニ」として親しまれています。秋はオスガニ、冬は卵を持ったメスガニの味がよいとされています。

道の駅 豊前おこしかけ

特産品のいちご・いちじくや採れたて地場野菜、ゆず・かぼちゃの加工品、ハム干物を販売。また、地元漁協による鮮魚の朝市も、毎朝8時から開店しています。豊前本ガニ・豊前海一粒かき・クルマエビ・コチ・アサリ・シヤコ等豊前近海でとれた新鮮な魚介類をそのままお届けします。



■年中無休
■営業時間/8:00~19:00
(11月~3月は18:00まで)
■問合せ/
TEL 0979-84-0544



もぎたて新鮮
農家直売
毎日、指定農家から新鮮な野菜を収穫し、新鮮もぎたての野菜を1kg単位で販売しております。

あまおう

大粒で糖度が高く、香り、色ツヤなど、甘味と酸味が絶妙バランスをもつ「あまおう」。摘みたての新鮮イチゴはお土産に喜ばれます。

無花果

朝もぎたての新鮮!!
甘くておいしいいちじくです。

かぼち門や



かぼちやケーキ
かぼちやプリン
かぼちソフトクリーム
かぼちアイスほか



清らかな水と豊かな土壌で契約栽培したブランド米です。豊前築上の良質米地区を厳選したお米は会員も多くとても好評です。



酒 豊前土地柄を生かした地酒も多種にわたり販売されています。



ハム 世界で最も権威のあるドイツ国際ハム・ソーセージ品評会において入賞。伝統の味をお届けします。



干物 豊前海の新鮮な魚介類を加工し、数十種類の製品が常時販売されています。



豊前の特産品「ゆず」を利用した製品は、ほんのりゆずの香りをご堪能ください。

ゆず製品・菓子

弁当 毎日数多くのお弁当が並びます。週末には道の駅限定の「駅弁」が人気です。

歴史と伝統。

遠い昔から育み
親しまれてきたお祭
今も受け継がれる
古きよき魂

求菩提山のお田植え祭 (求菩提山の松会)

くぼてさんのおたつえまつり



◎県指定無形民俗文化財
3月29日【求菩提山中宮】

求菩提山国玉神社中宮前の広場にて毎年3月29日に行われる民俗芸能。「松会」はその年の豊作を予め祝う祭で、奈良時代より伝承され、現在では「田行事」のみが伝えられています。春の種まきから秋の採り入れまでの農作業を真似ての所作が御神歌にあわせてユーモラスに繰り広げられ、例年多くの観客で賑わいます。



清原神事 せいばるしんじ

4月第2土・日【山内、合河地区】

福吹八幡神社の春の大祭。神輿と傘鉾を中心とした神幸行列がお旅所である清原神事場まで巡行します。途中決められた場所では、それぞれの神輿が天高く掲げられ、氏子によって激しく回転させて雄姿を競います。お立ちとお着きには、山内神楽講による神楽が奉納されます。中でも、二日目お旅所から再び本社にお下りする際奉納される湯立神楽は必見です。



豊前岩戸神楽

ぶぜんいわとかぐら

◎県指定無形民俗文化財
9月～12月【市内各所】

豊前市の岩戸神楽は現在6つの神楽講(保存会)により伝承されています。演目には俗に豊前岩戸神楽三十三番といわれ、「式神楽」の花神楽・笠神楽・弓正護・地割などは神楽本来の優雅な舞です。また「出雲神話」に基づく「狐仙(御先)神楽、大蛇退治や神迎、岩戸開き、さらには曲芸的な動きが人気の「剣神楽、盆神楽」なども楽しい演目です。圧巻は、高さ10mにも及ぶ齋齋と呼ばれる柱に鬼が登る湯立神楽で、見るものの腹を抜きます。



◎県指定無形民俗文化財
4月29日～5月1日【八屋・山田・千束地区】

740年、大宰府の藤原広嗣の反乱鎮圧に際し功績のあった、上毛郡擬大領、紀宇麻呂の凱旋のすがたを模したものと伝えられています。毎年4月30日、5月1日に開催され、御旅所に向う神幸行列と八屋の町を船車、山鉾、踊り車が繰り歩きます。30日夕方、住吉御旅所には次々と山車が到着し、祭はクライマックスを迎えます。山車が御旅所に入る様は勇壮で、祭の醍醐味を感じさせます。

大富神社春季神幸祭 (八屋祇園)

おとみじんじゃしゅんきしんこうさい はちやきおん

宇島祇園 うのしまきおん (宇島神社春季神幸祭)

◎市指定無形民俗文化財
5月3日～5日【宇島地区】

文政8年(1825)、藩主小笠原忠公の御座船「天祥丸」が海路参勤交代の途中折からの時化で難をなしたところ、宇島の漁民が救った事が起源と言われています。毎年5月3、4、5日に開催され、神輿と6台の山車が町内を繰り歩きます。5日の宇島神社前への集結でクライマックスを迎え、駆け抜ける山車の勇壮さは一見の価値があります。



山田の感応楽

やまだのかんのうがく

◎県指定無形民俗文化財
4月30日・5月1日【隔年】

感応楽は天地感応楽又は国楽とも呼ばれ、五穀豊穡、雨乞い、天下泰平、国家長久を目的とし、4月30日、5月1日(隔年)の両日に大富神社、住吉御旅所、各神社等で奉納されます。中樂が腰装赫熊姿で締太鼓を振り打ち鳴らし、団扇使いが5尺ほどの大きな団扇を振る姿は勇壮で、神と人との感応という緊張感の中で行われる舞は、見る人を魅了させます。



その他の祭り

他にも四季折々様々なイベントが催されます。

●しゃくなげ祭り

4月下旬【豊前市大字求菩提】 求菩提資料館周辺の園地で催され、地元の物産の販売、しゃくなげの苗の販売や神楽などのイベントが賑やかに開催されます。また、この時期園地には、約3,000本のしゃくなげ花開き、訪れる人々の目を惹きます。

●宝福寺山つつじ祭り

4月下旬～5月上旬【豊前市八屋 宝福寺山つつじ公園】 よどがわ、きりしまを中心に約3,000本のつつじが公園を覆います。期間中は数多くのポンボリが点灯され、昼間のつつじとはまた違う趣が訪れる人を魅了します。

●みなと祭り

7月下旬～8月上旬【豊前市大字宇島】 宇島港を会場に催される夏の一大イベント。船舶行進、豊漁祝典などが執り行われるほか、夜からは色とりどりの花火が打ち上げられ、夜空と海面を輝やかに彩ります。また、数多くの出店も並び会場は多くの人で賑わいます。

●カラス天狗祭り

10月下旬 豊前の特産品や、各店自慢の商品また季節の旬の野菜や果物が盛りだくさんに販売されるほか、会場内ではステージイベントやフリーマーケット、ふれあい動物園など多彩なイベントが繰り広げられ、多くの方で賑わいます。

●豊築漁協 さかな祭

10月第2土曜日【豊前市大字宇島】 豊前海で獲れた新鮮な魚介類と地元で作られた旬な野菜の直売や、漁師の風さんによる手作り海鮮汁が振舞われます。また、せり市の体験や、魚のつかみ取り、もちつきなどのイベントが催されます。

●合河ゆず祭り

11月下旬【豊前市大字下河内】 豊前市合河地区の特産品であるゆずやゆずの加工品、地元で作られた野菜、みそ、漬物などが販売されます。また、ヤマメの試食販売や地域の食材を使った料理も販売されるほか、多彩なイベントが催されます。



1	2	3
8		4
7	6	5

1. 才尾の一本桜(豊前市大字才尾/3月下旬~4月上旬)
2. 求菩提のヒメシャガ【県指定天然記念物】
(求菩提資料館周辺/5月中旬)
3. 宝福寺山のつつじ(豊前市大字八屋前川
『宝福寺山つつじ公園』/4月下旬~5月中旬)
4. 求菩提山の紅葉
(豊前市大字求菩提/11月上旬)
5. 枝川内アジサイランド
(豊前市大字岩屋枝川内/6月中旬~下旬)
6. 如法寺の蓮
(豊前市大字山内『如法寺』/7月中旬)
7. 轟の藤(豊前市大字上川底/4月下旬)
8. 犬ヶ岳ツクシヤクナゲ自生地【国指定天然記念物】
(豊前市大字犬ヶ岳/5月上旬)

豊前の自然は四季折々に、色んな花や樹木がそれぞれの表情を見せてくれ、訪れる人々の心を癒してくれます。

